



日々嬉しい一つの種は、 一粒万倍に

人間は「今日も元気だから、たぶん明日も元気だろう」と思い込みやすい。しかし、明日の命の保証はない。そもそも私たちは、自分や配偶者、子供、孫といった肉親の寿命も知らない。人生には信仰する、しないにかかわらず、つらい、悲しい出来事は必ず起こるということである。

しかし、私たちは、親神様によって造られた子供であり、どんなにつらい節の中にも、親神様の子供可愛い親心がこもっていることを知っている。こんなありがたいことはないのである。ただし、知っているだけでは運命は変わらない。教えを実践、実行してこそご守護がいただける。(中略)

今年の「年頭あいさつ」で真柱様は、一手一つになれば、自分一人では出せない力を与えていただけることができ、自分一人では味わえない喜びを味わわせていただくことができるとお諭しくくださった。

教祖140年祭まであと数ヶ月。どんな力をお与えいただけるか、どんな喜びを味わわせていただけるかを楽しみに、喜びの種まき、おたすけの種まき、伏せ込みの種まきに、一手一つに精いっぱい努めさせていただこう。(おやさと講演会要旨・深谷善太郎本部長・天理時報より転載)

日々嬉しい一つの種は、一粒万倍に成りて日々治まりて来る。

(おさしづ明治24年12月19日)

本島大教会布教部



天理教本島大教会